

## 「受刑者に対する釈放時アンケート」について（平成25年度分）

刑事施設の運営の実情に対する国民の理解を深めることを目的として、平成25年度に実施した「受刑者に対する釈放時アンケート」の集計結果を公表しますので、お知らせします。

### 1 内容

行刑改革会議の提言を受け、行刑行政の透明化、処遇環境の充実化等を推進するための一方策として、矯正局では、平成17年4月から、出所受刑者を対象として釈放時アンケートを実施しています。

釈放時アンケートは、受刑者の釈放時の感想等を集計し、刑事施設の適正な運営を図るための資料として活用するとともに、その結果を公表し、刑事施設の運営の実情に対する国民の理解を深めるための資料として活用するものです。

### 2 調査期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日

### 3 対象者

25,947名

※上記の期間中に、刑事施設を満期釈放又は仮釈放となった受刑者

### 4 有効回答数（回答率）

24,189名（93.2%）

（男子：21,898名、女子：2,291名）

※対象者のうち、アンケートの実施を拒否した者及び傷病等のためアンケートの実施が困難な者は除いた。

※1項目でも有効な回答があれば有効回答数に計上している。

### 5 結果

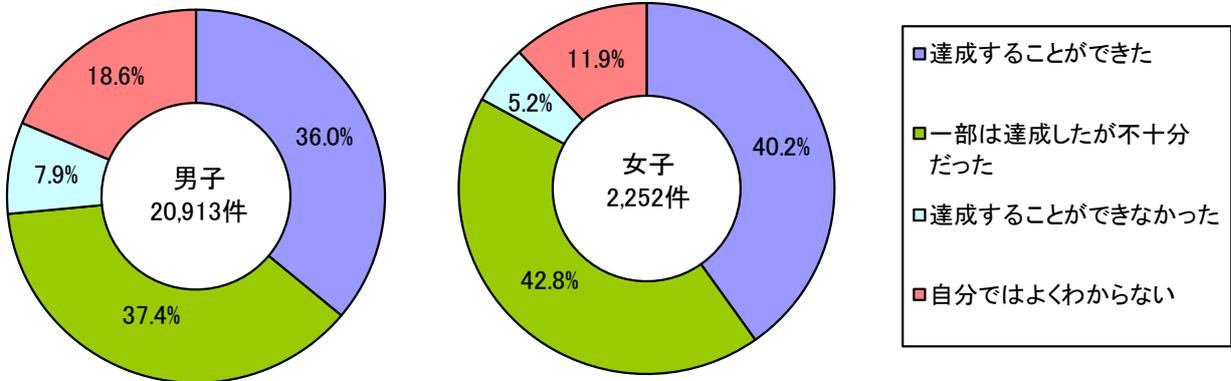
アンケート集計結果は次のとおり。

なお、アンケート結果の図表の構成比は四捨五入したために、構成比の和は100.0%にならない場合がある。



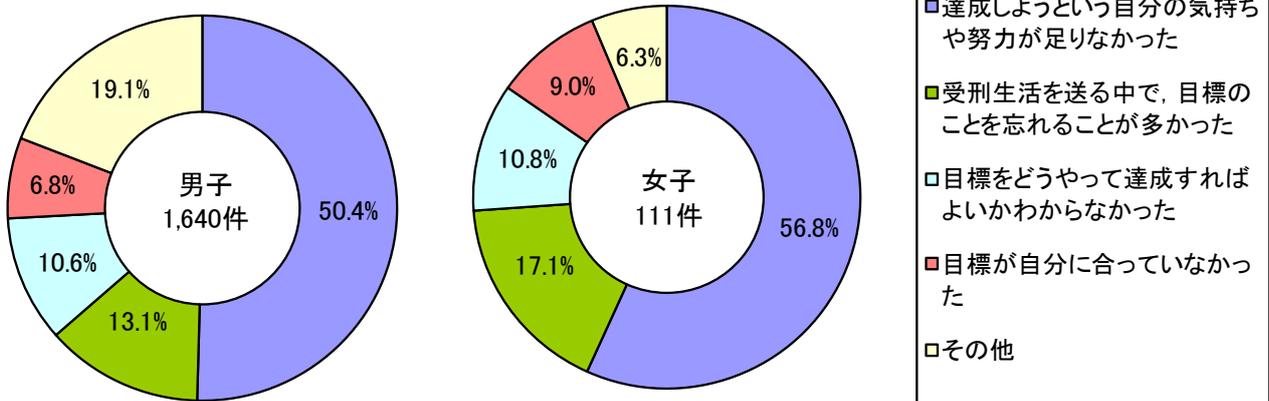
1 今回の受刑における矯正処遇の目標について聞きます。

(1) 受刑生活を通じて、自分に定められた目標を達成することができましたか。【1つ選択】



矯正処遇の目標について、「達成することができた」または「一部は達成したが不十分だった」とする回答は、男子 73.4%、女子 83.0%と大多数を占め、「達成することができなかった」は男子 7.9%、女子 5.2%であった。一方、男子の2割弱は「自分ではよくわからない」と回答している。

(2) (1) で「達成することができなかった。」と答えた人に聞きます。  
その理由として考えられるものは何ですか。【1つ選択】

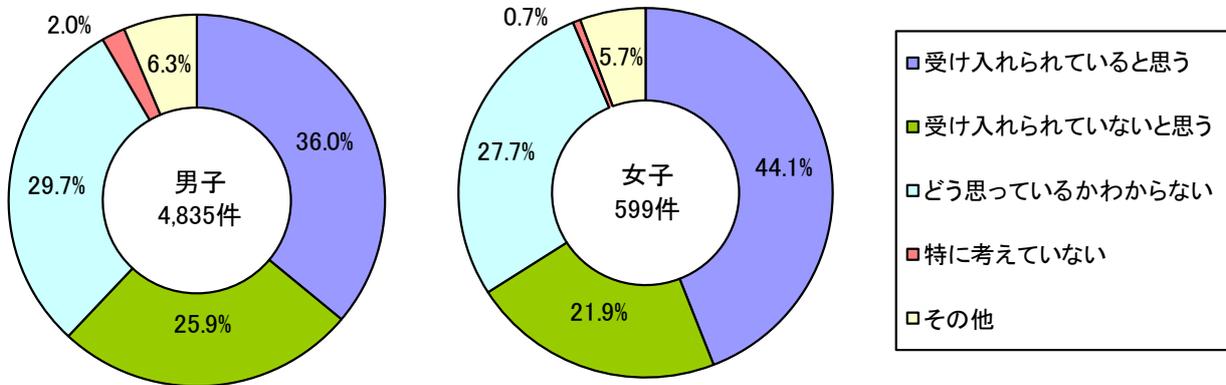


「達成することができなかった」と回答した理由について、男女とも「達成しようという自分の気持ちや努力が足りなかった」の回答が約半数を占めている。また、「目標のことを忘れることが多かった」との回答は、男子の13.1%に比べ、女子が17.1%と若干高い。

2 今回受刑することになった犯罪に被害者（その家族を含む。）がいる人に聞きます。

（1）被害者に謝罪や被害弁償（慰謝料の支払いを含む。）等をした人に聞きます。

被害者はどのように感じていると思いますか。【1つ選択】

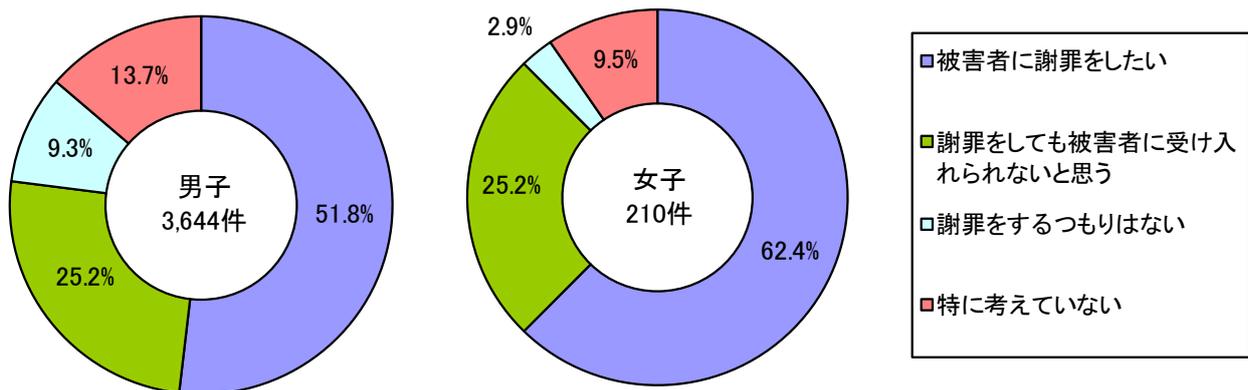


被害者に謝罪や被害弁償等をした人に対し、被害者の感じ方を質問したところ、男女とも「受け入れられていると思う」が「受け入れられていないと思う」を上回っている。  
一方、男女共に約3割は、「どう思っているかわからない」と回答している。

（2）被害者に謝罪や被害弁償等（慰謝料の支払いを含む。）をしていない人に聞きます。

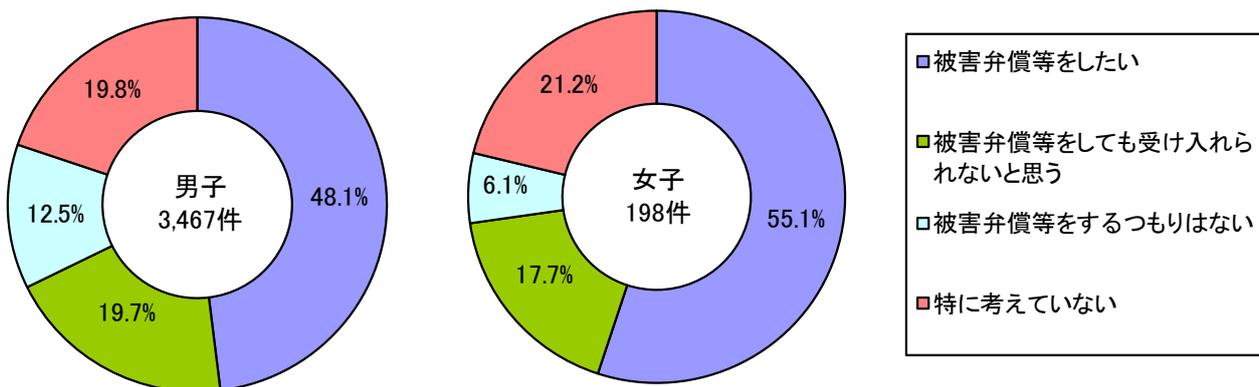
謝罪被害弁償等について、どのように考えていますか。【各1つ選択】

ア 謝罪について



被害者に謝罪や被害弁償等をしていない人に対し、謝罪について質問したところ、男女とも「謝罪をしたい」という回答が半数を越えている。  
一方、男子の23%、女子の12.4%は、「謝罪をするつもりはない」「特に考えていない」と回答している。

イ 被害弁償等（慰謝料の支払いを含む。）について

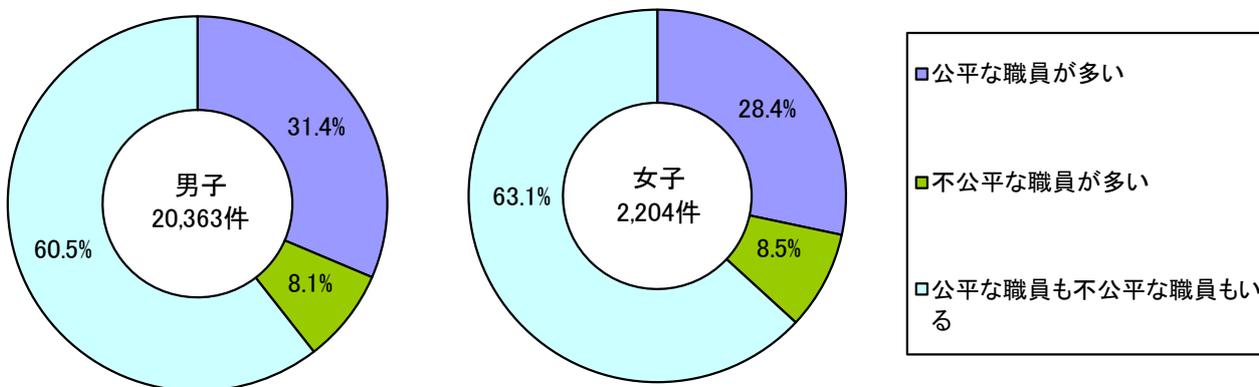


被害者に謝罪や被害弁償等をしていない人に対し、被害弁償等について質問したところ、男女とも約半数が被害弁償等をしたたいと回答した。

一方、男子の51.9%、女子の44.9%は、「被害弁償等をしたたい」「被害弁償等をしてもらえないと思う」「被害弁償等をするつもりはない」「特に考えていない」と回答している。

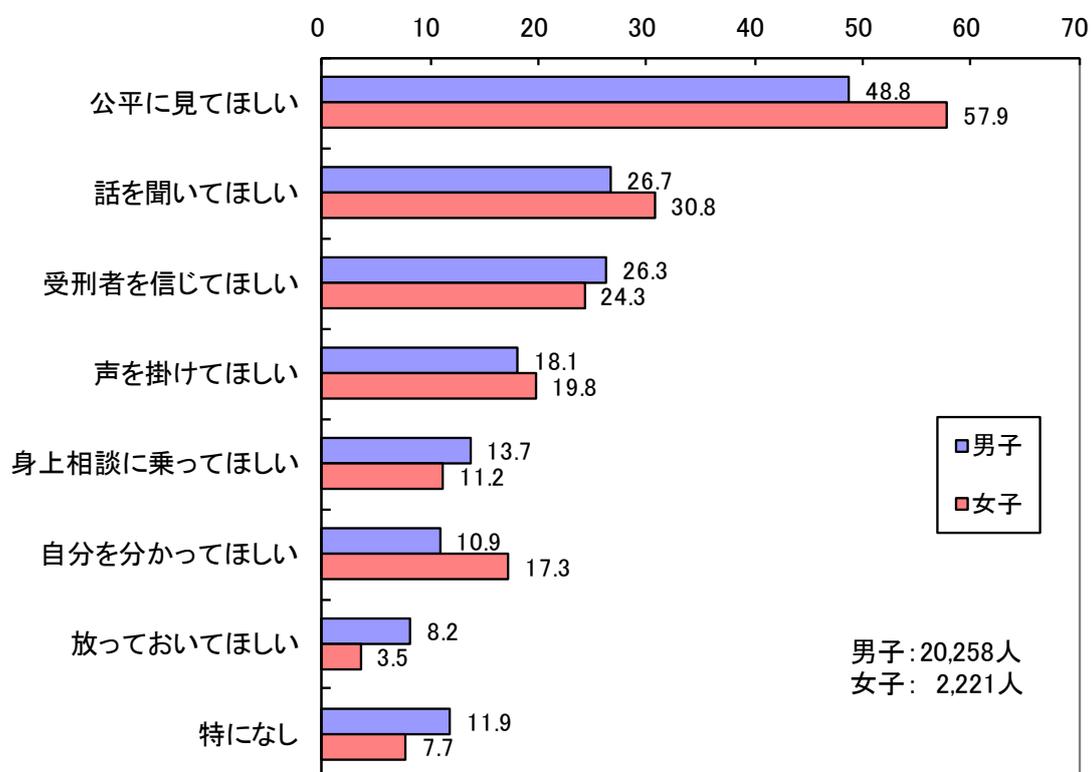
3 職員について聞きます。

(1) 職員全体の公平さについてどのように感じましたか。【1つ選択】



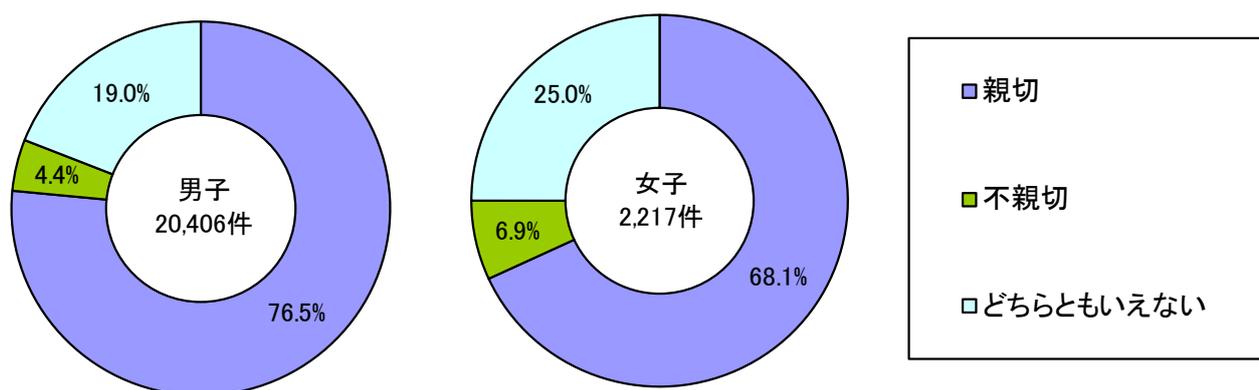
(2) 職員に望むことはどれですか。【2つ選択】

(%)

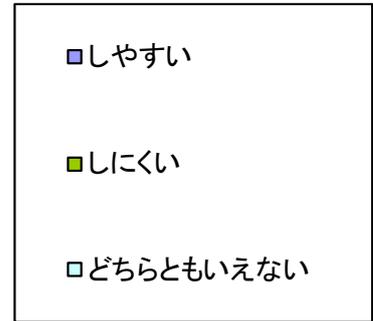
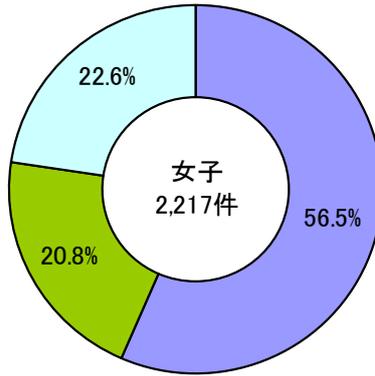
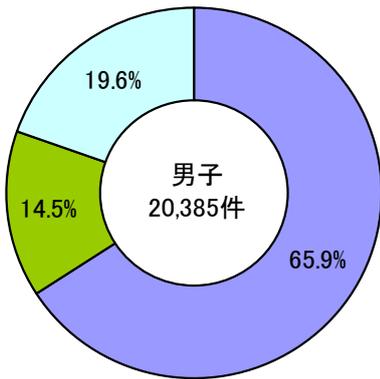


(3) あなたを一番長く担当した職員について【各1つ選択】

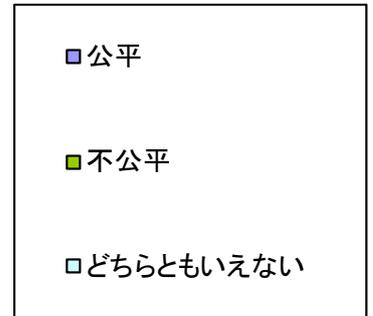
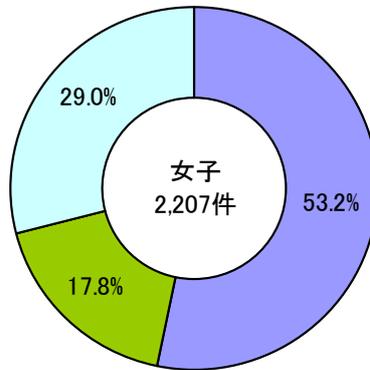
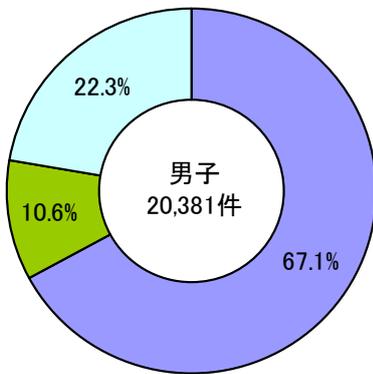
ア 親切さ



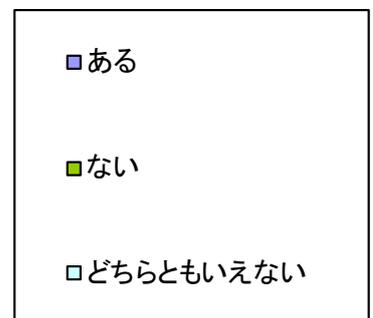
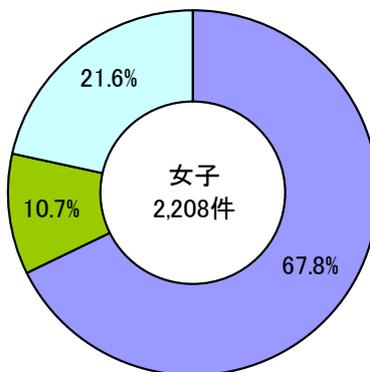
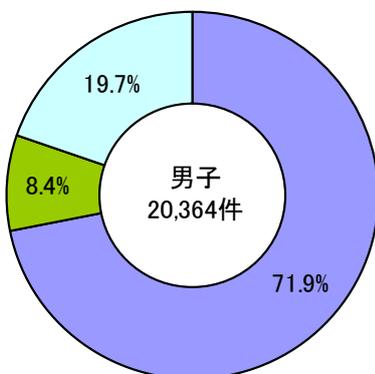
イ 相談しやすさ



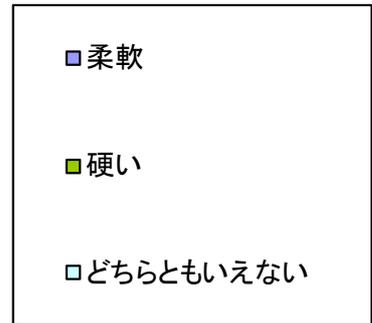
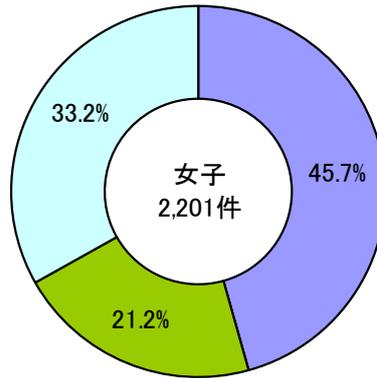
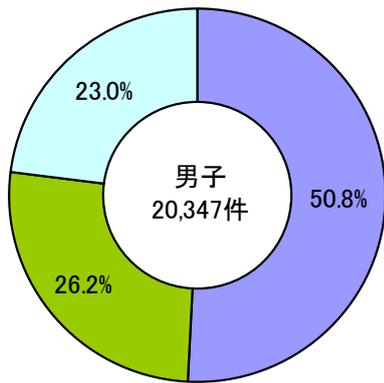
ウ 公平さ



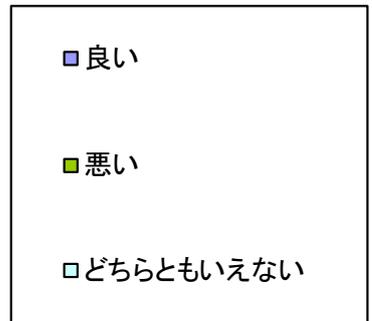
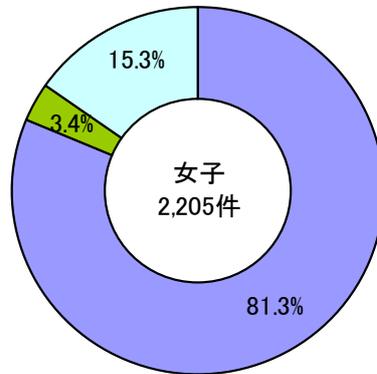
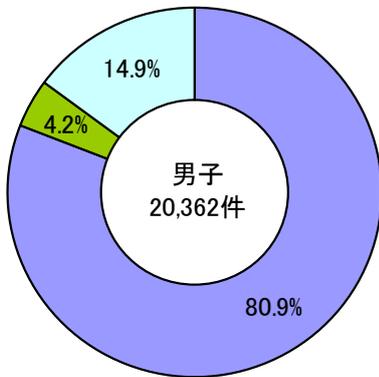
エ 信頼感



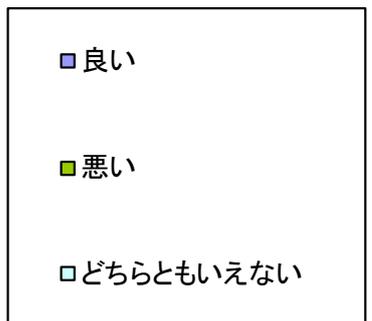
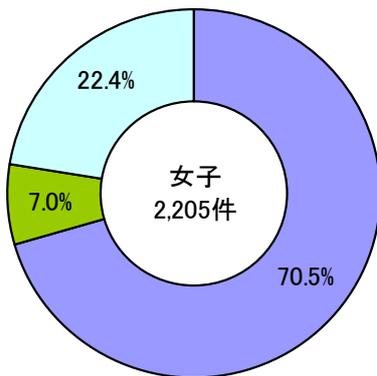
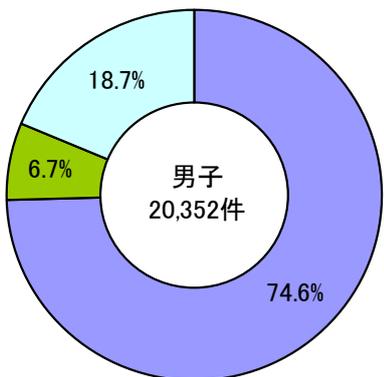
オ 考え方



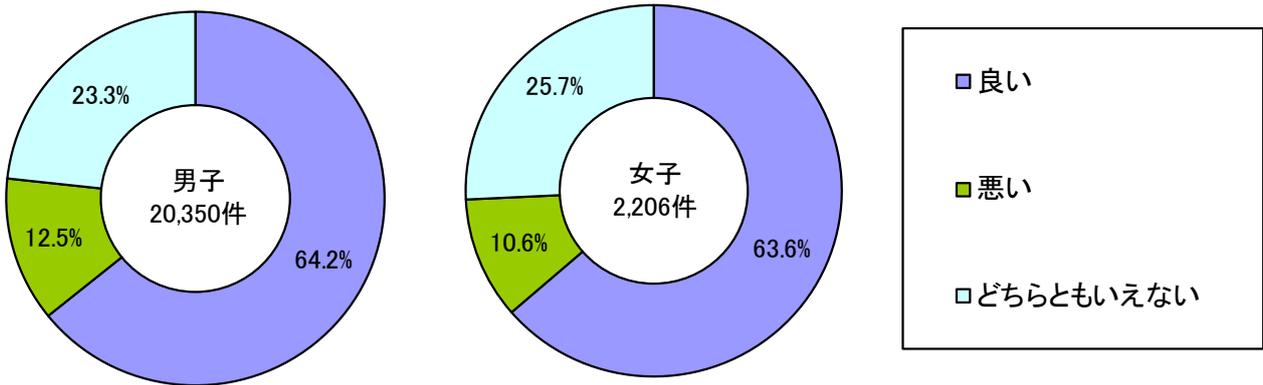
カ 勤務姿勢



キ 態度

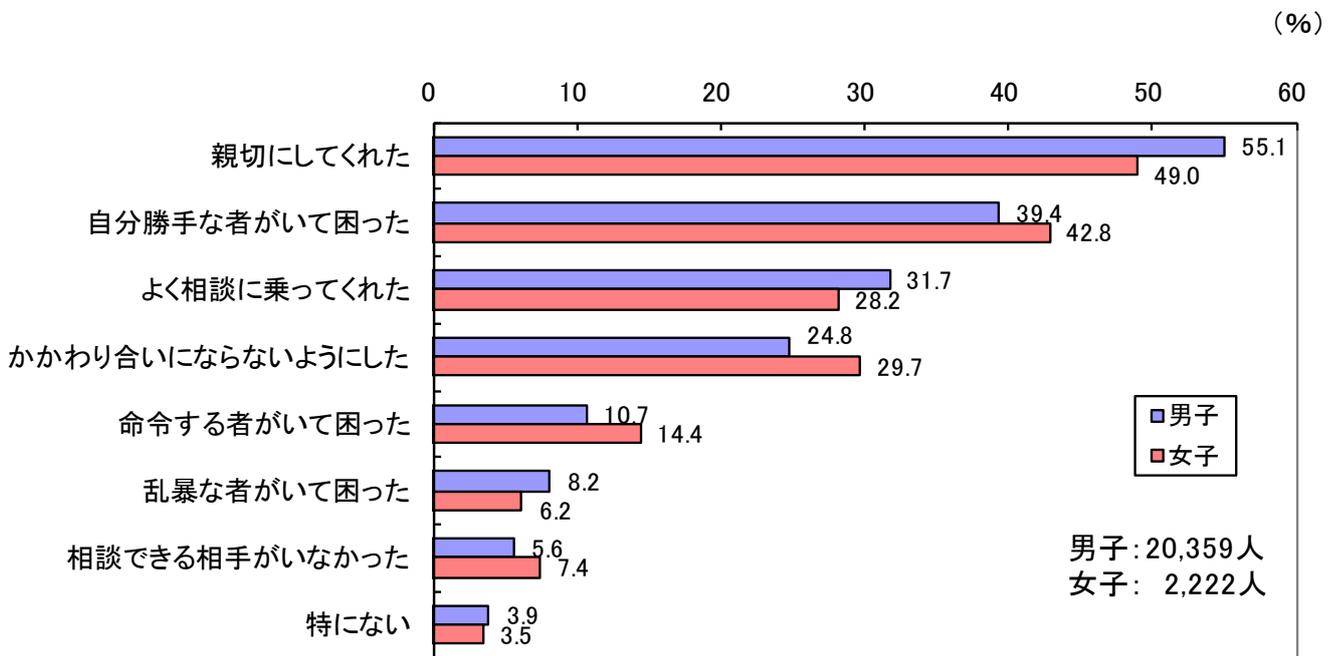


ク 言葉遣い



職員全体の公平さについて、「公平な職員が多い」という回答の割合は、男子 31.4%、女子 28.4% であるが、自分を一番長く担当した職員の公平さについては、男子 67.1%、女子 53.2%であった。職員に望むこととしては、男女共に「公平に見てほしい」が最も多く、続いて「話を聞いてほしい」「受刑者を信じてほしい」とする回答が多かった。自分を一番長く担当した職員については、男女とも好意的な回答が多い。

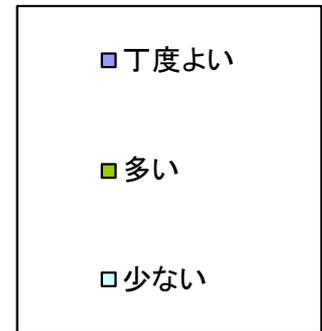
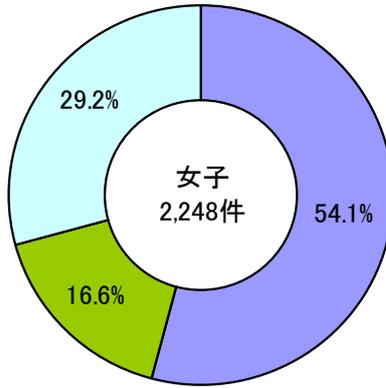
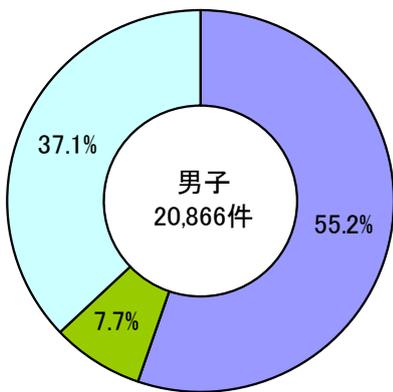
4 他の受刑者に対してどのように感じましたか。【2つ選択】



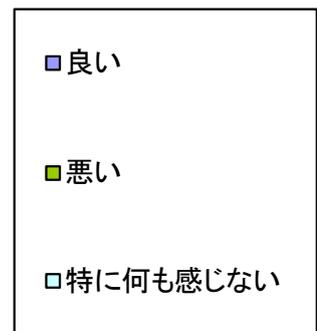
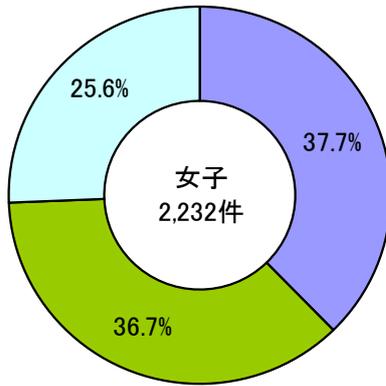
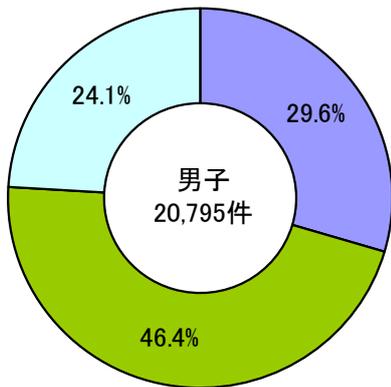
他の受刑者については、男女とも「親切にしてくれた」が最も多く、約半数を占めている。次いで「自分勝手な者がいて困った」も約 40%と多かった。

5 食事関係について聞きます。【各1つ選択】

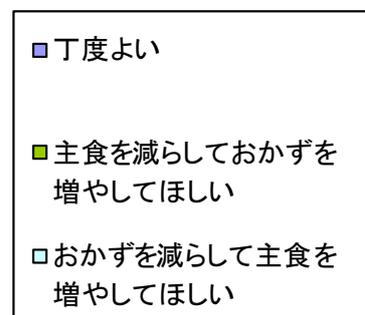
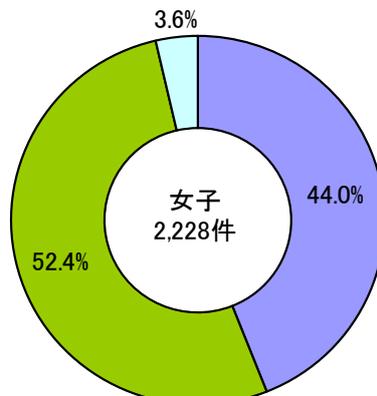
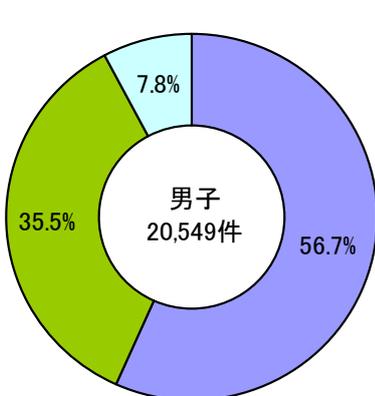
(1) 食事の量



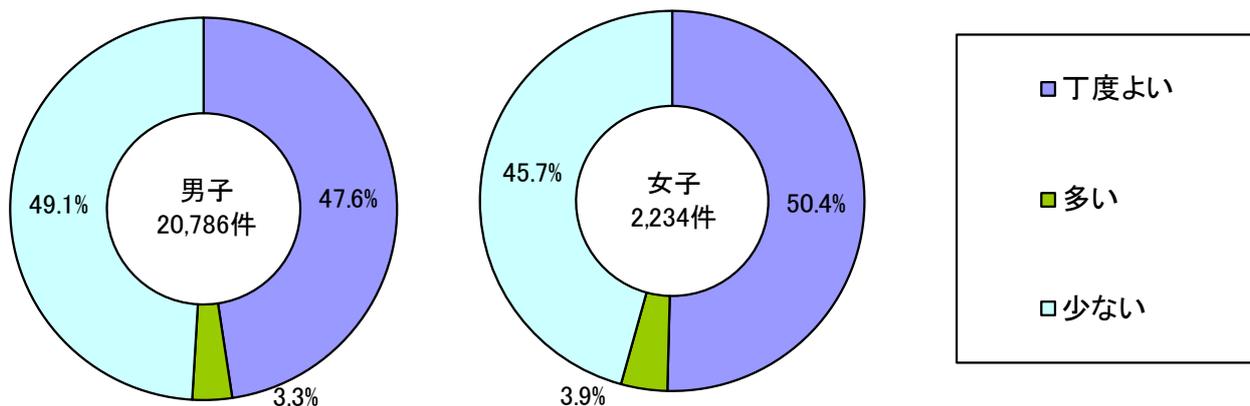
(2) 食事の質



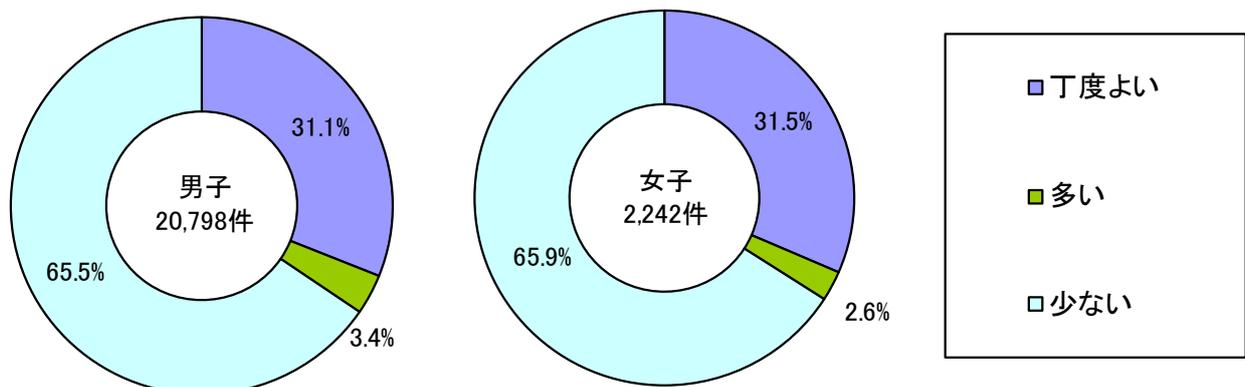
(3) 主食とおかず



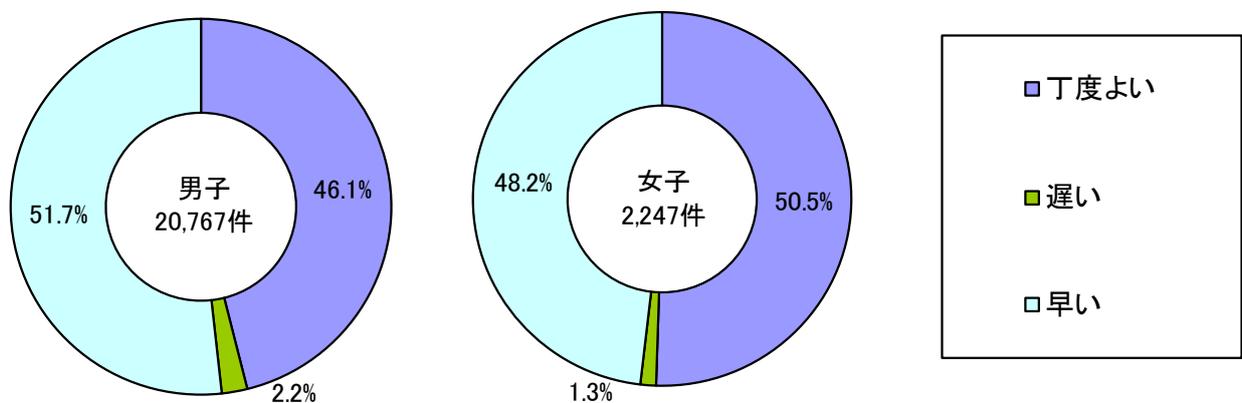
(4) 献立種類



(5) パン食回数



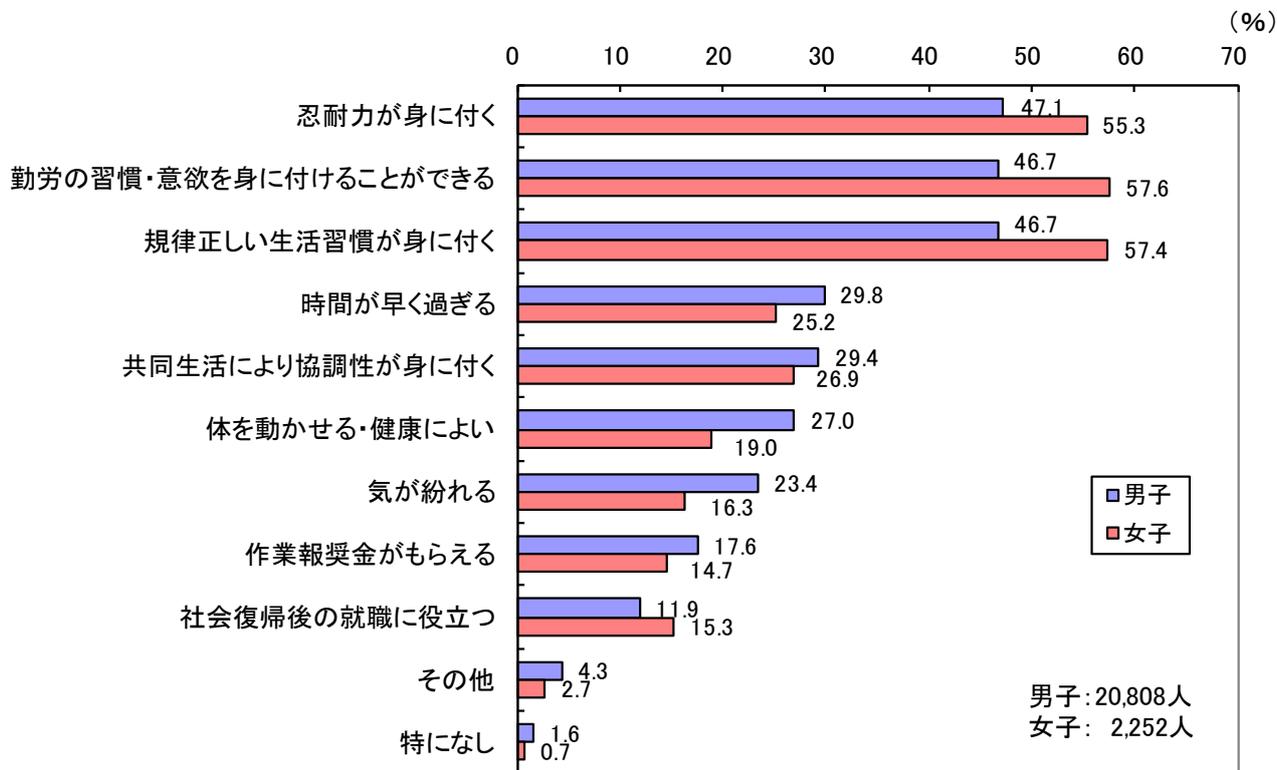
(6) 夕食時間帯



食事について、「食事の量」「主食とおかず」「献立種類」等は「丁度よい」がほぼ半数を占めているが、「食事の質」は「悪い」,「パン食回数」は「少ない」の比率が高くなっている。

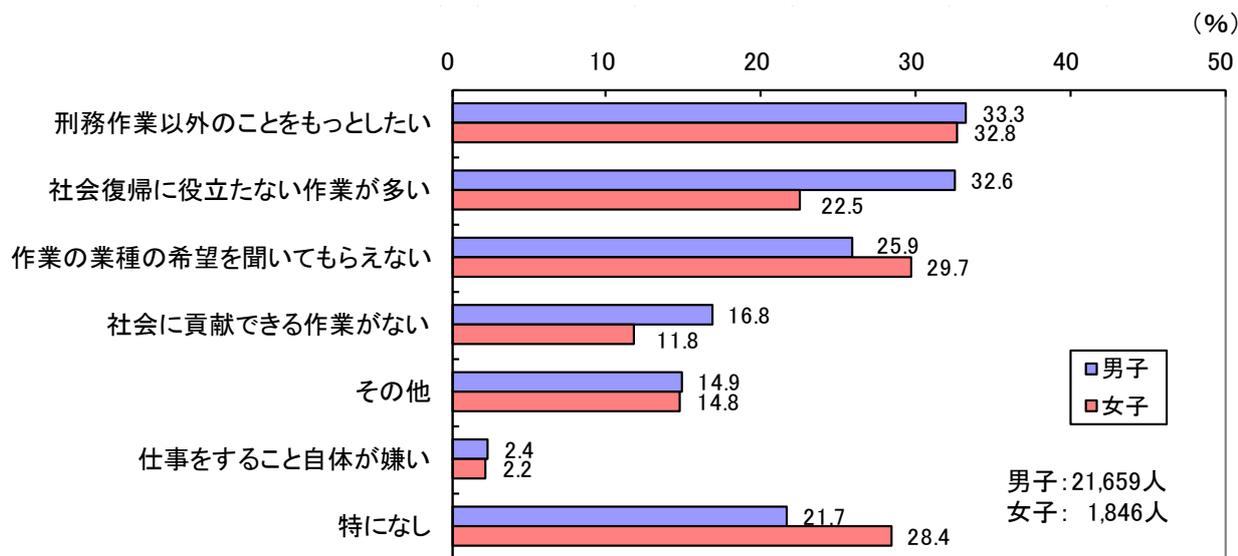
## 6 刑務作業関係について聞きます。

(1) 作業をして良かったことは何ですか。【3つ選択】



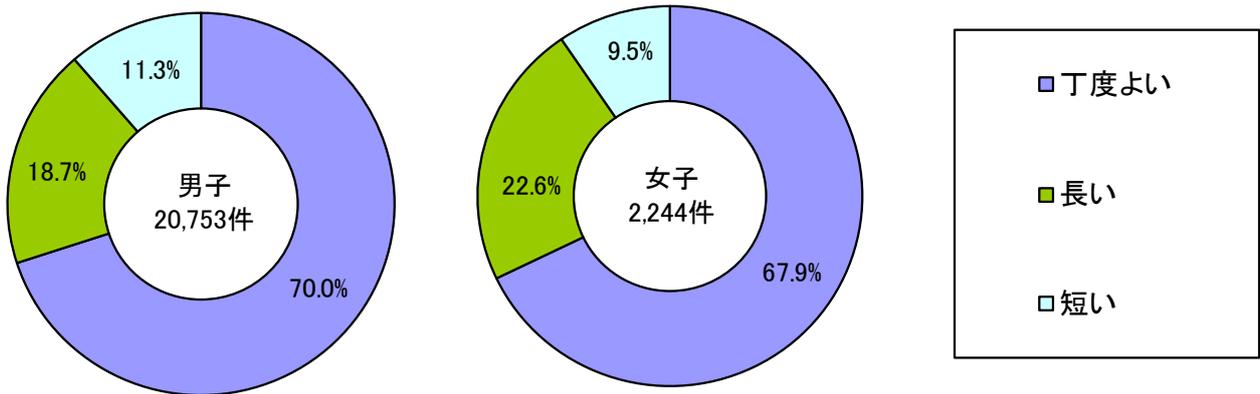
刑務作業について、「作業をして良かったこと」は、男女とも、「忍耐力が身につく」「規律正しい生活習慣が身につく」「勤労の習慣・意欲が身につく」の回答が約半数である。

(2) 作業に関して不満な点は何ですか。【2つ選択】



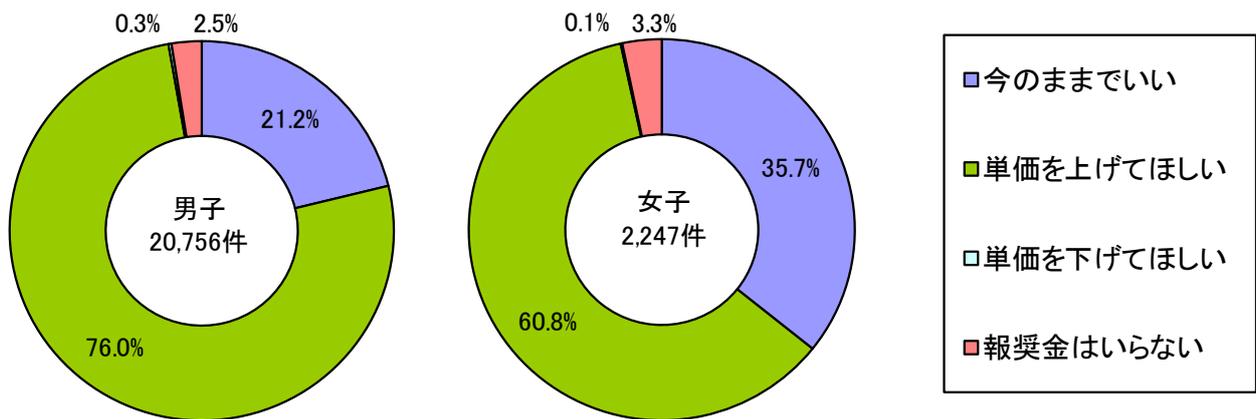
刑務作業について、「作業に関して不満な点」は、男女とも、「刑務作業以外のことをもっとしたい」の回答が最も多い。次に多い回答は、男子は「社会復帰に役立たない作業が多い」で32.6%、女子は「作業の業種の希望を聞いてもらえない」で29.7%である。

(3) 作業時間についてどう思いますか。【1つ選択】



作業時間は、男女とも「丁度よい」という回答が約70%を占めるが、「短い」という回答も10%前後ある。

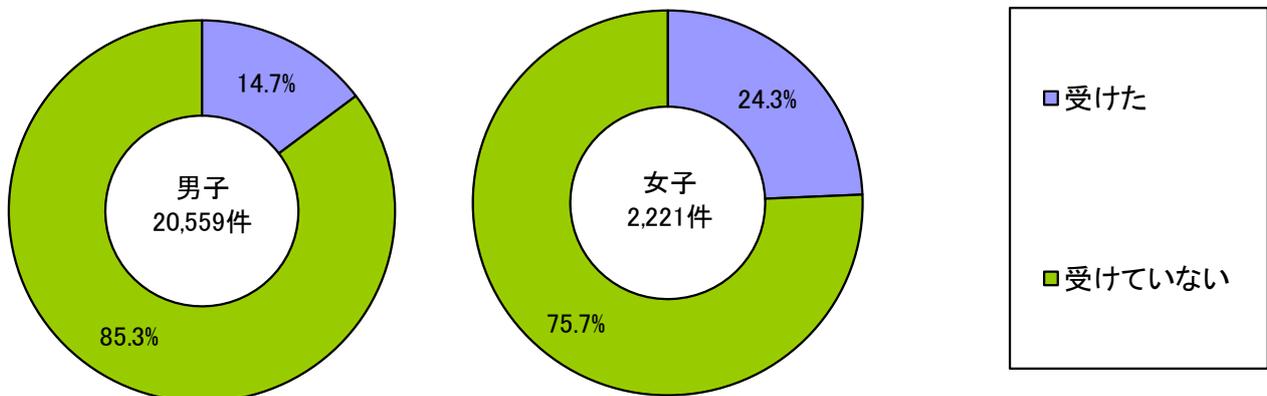
(4) 作業報奨金についてどう思いますか。【1つ選択】



作業報奨金については、男女とも「単価を上げてほしい」という回答が高率ではあるが、「今のままでいい」という回答は男子21.2%に対し、女子は35.7%であった。

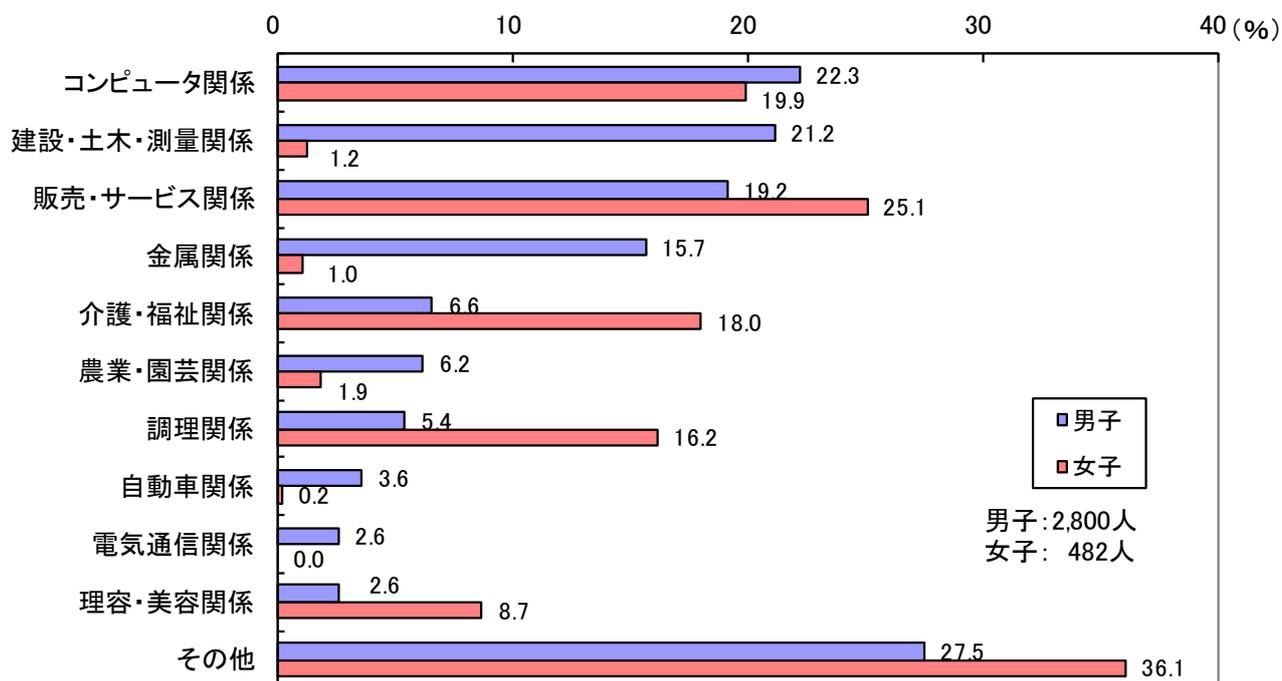
7 職業訓練関係について聞きます。

(1) 職業訓練を受けましたか。【1つ選択】



(2) (1) で職業訓練を「受けた」と答えた人に聞きます。

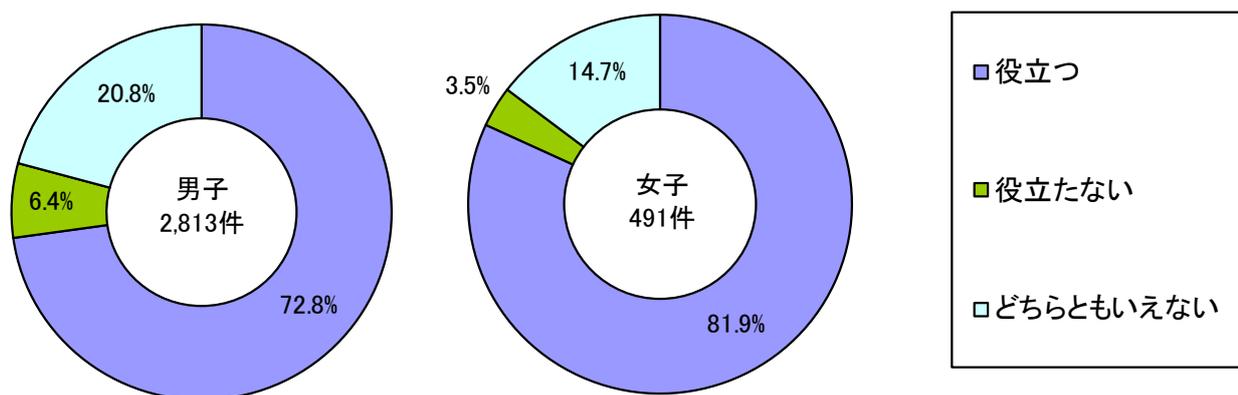
何の職業訓練を受けましたか。【3つ選択】



職業訓練は男子の 14.7%、女子の 24.3%が受講しており、「その他の訓練」を除くと、男子は「コンピュータ関係」が 22.3%、女子は「販売・サービス関係」が 25.1%で最も多い。

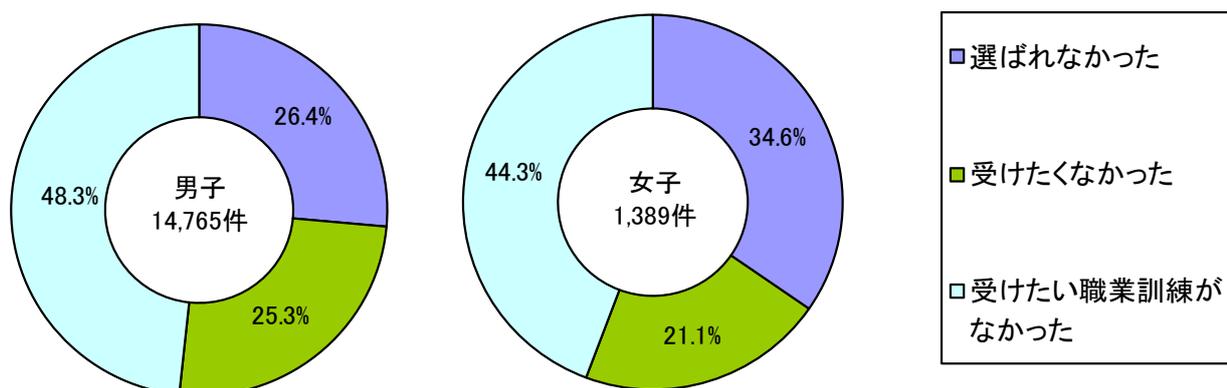
(3) (1) で職業訓練を「受けた」と答えた人に聞きます。

職業訓練を受けたことが社会復帰に役立つと思いますか。【1つ選択】



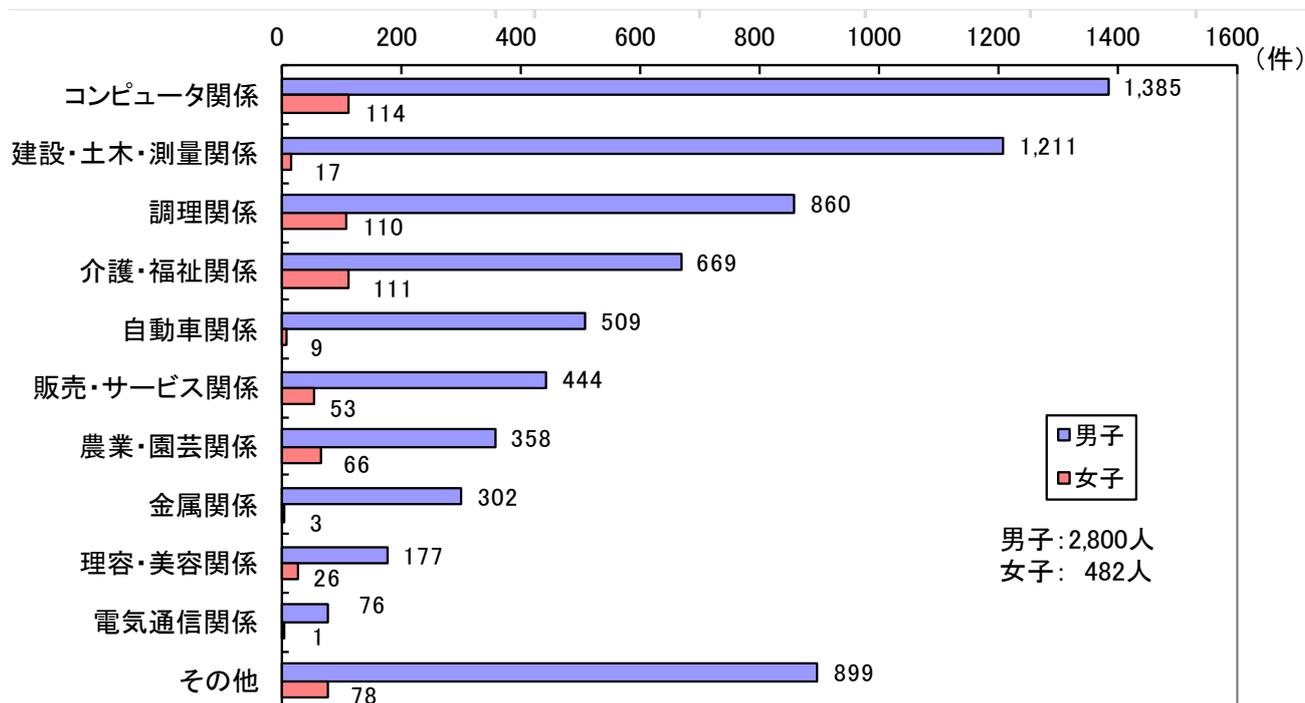
職業訓練について、受講した人に「社会復帰に役立つか」と質問したところ、男女共に「役立つ」と答えた比率が7割を超えている。

(4) 職業訓練を受けなかった人に聞きます。職業訓練を受けなかった理由は何ですか。【1つ選択】



職業訓練について、受講しなかった人に理由を質問したところ、「受けたい職業訓練がなかった」という回答がほぼ半数であった。

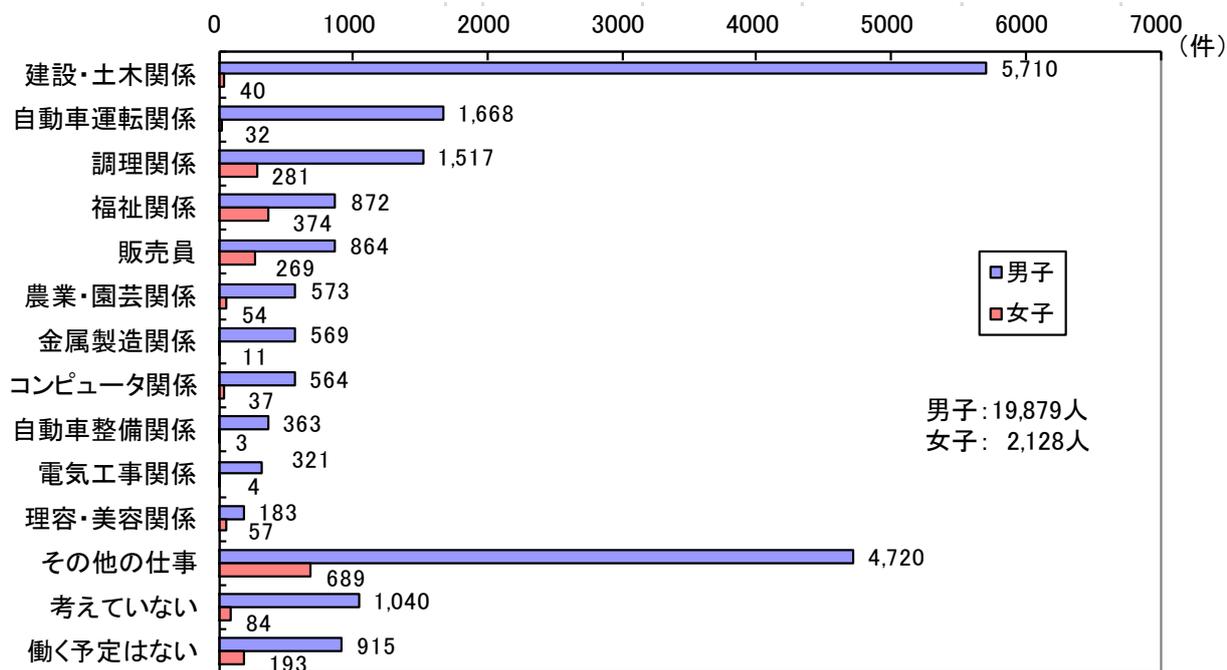
(5) (4) で「受けたい職業訓練がなかった。」と答えた人に聞きます。  
どのような訓練があれば、受けたいと思いましたか。【1つ選択】



職業訓練について、「受けたい職業訓練がなかった」と回答した人に希望する訓練を質問したところ、男子は「コンピュータ関係」、「建築・土木・測量関係」が、女子は「コンピュータ関係」、「調理関係」、「介護・福祉関係」が多い。

## 8 出所後の就労について聞きます。

出所後に就きたい（就くつもり）の仕事はどれですか。【1つ選択】

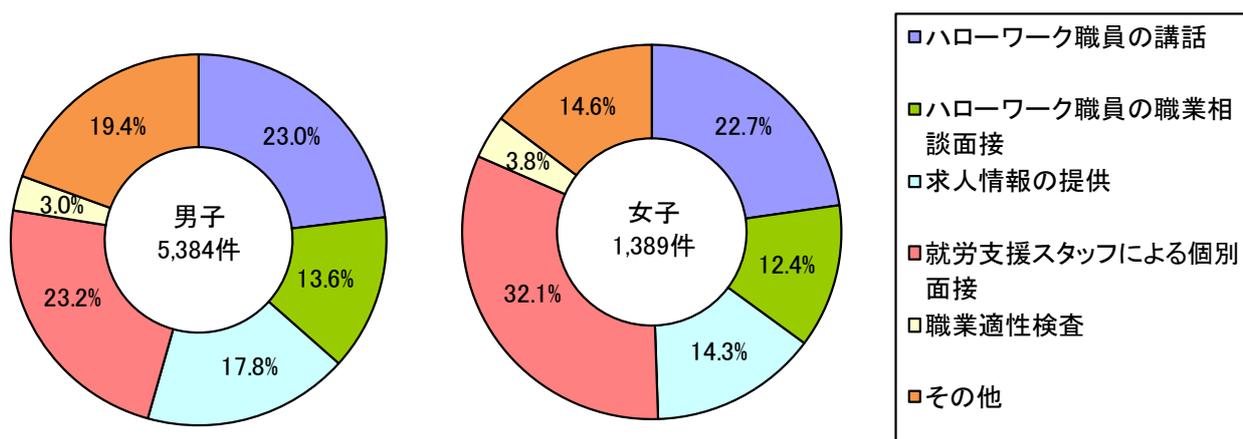


出所後に就きたい（就くつもり）の仕事について質問したところ、「その他の仕事」を除くと、男子は「建設・土木関係」が約3割、女子は「福祉関係」が約2割と比較的多かった。

## 9 就労支援について聞きます。

就労支援を受けた人に聞きます。

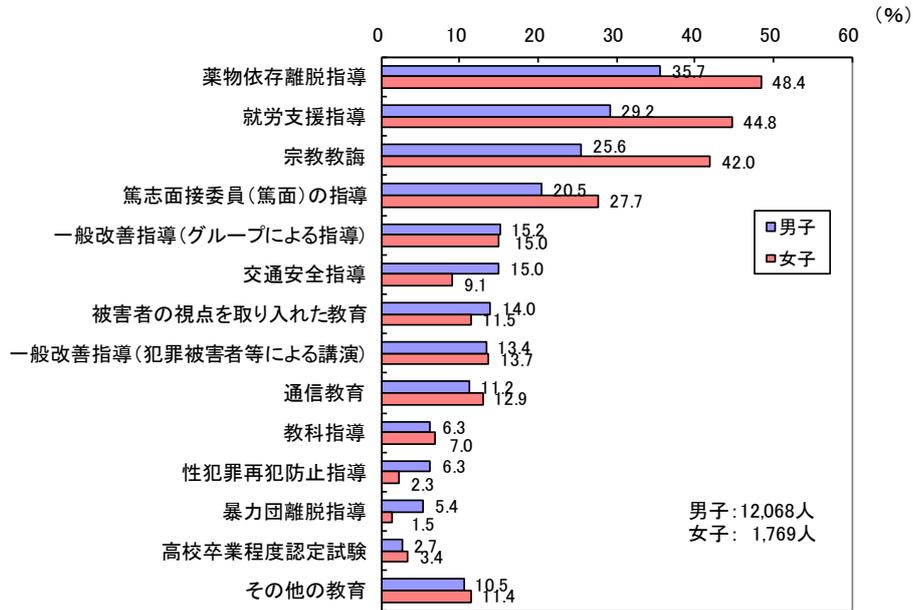
受けた就労支援のうち、あなたが一番役に立ったと思ったものはどれですか。【1つ選択】



受けた就労支援のうち、一番に役に立ったものについて質問したところ、男女とも各項目に分散したが、「ハローワーク職員の講話」「就労支援スタッフによる個別面接」が比較的高い。

10 教育関係について聞きます。

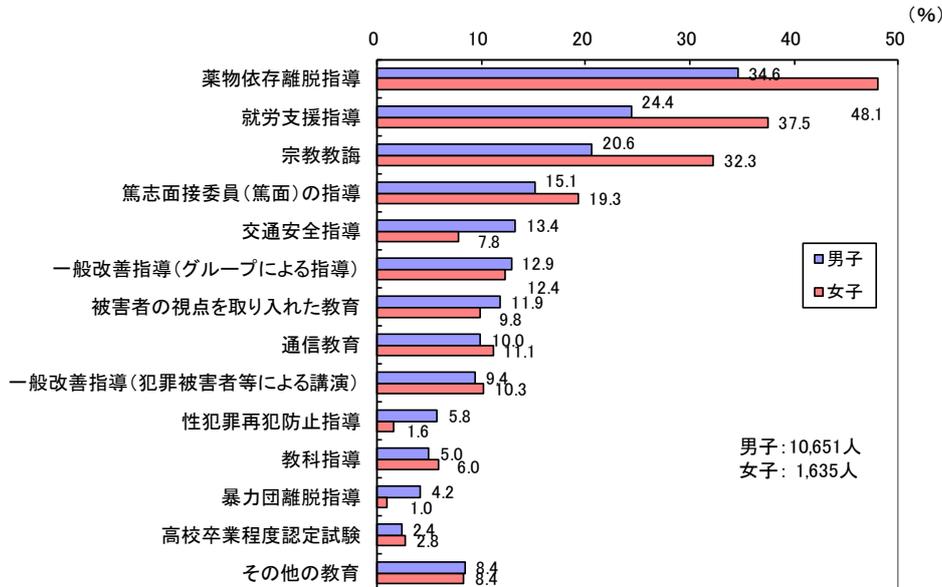
(1) 各種の教育（改善指導等）のうち、あなたが受けたものはどれですか。【すべて選択】



(注) 暴力団離脱指導及び性犯罪再犯防止指導を受けたと回答している女子が若干名いるが、同指導については、女子には実施していない。

各種の教育（改善指導等）のうち、受講したものを質問したところ、「薬物依存離脱指導」が最も多いが、男女別で見た場合、男子が35.7%、女子が48.4%と女子が高い。次いで「就労支援指導」、「宗教教誨」と続く。

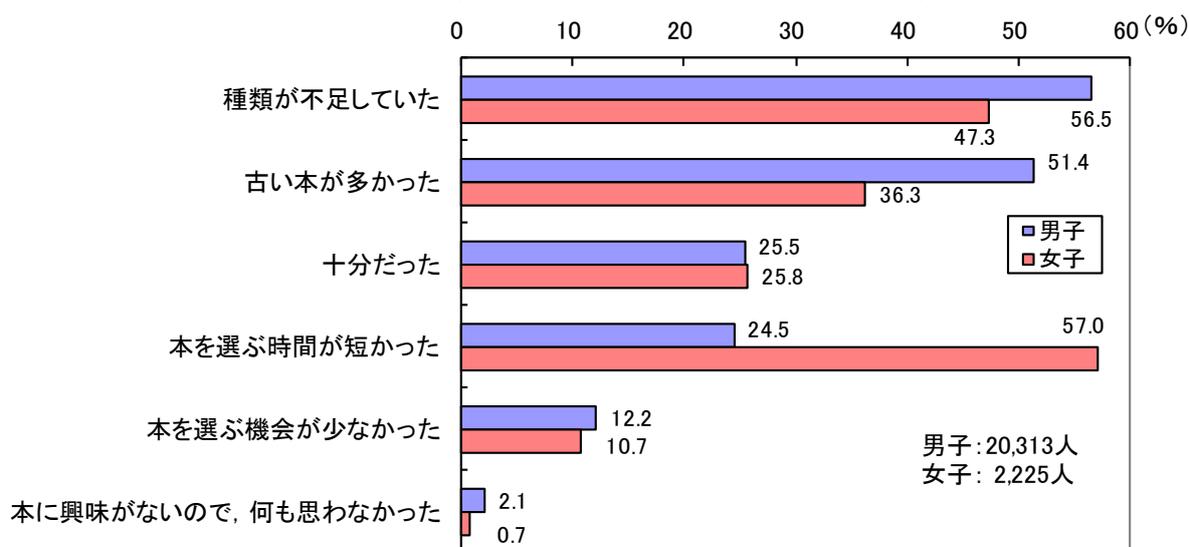
(2) (1) で「受けた」と答えた教育（改善指導等）のうち、あなたが役に立ったと思ったものはどれですか。【すべて選択】



(注) 暴力団離脱指導及び性犯罪再犯防止指導が役に立ったと回答している女子が若干名いるが、同指導については、女子には実施していない。

各種の教育（改善指導等）のうち、役に立ったと思ったものを質問したところ、「薬物依存離脱指導」が最も多いが、男女別で見た場合、男子が34.6%、女子が48.1%と女子が高い。ついで「就労支援指導」、「宗教教誨」と続く。

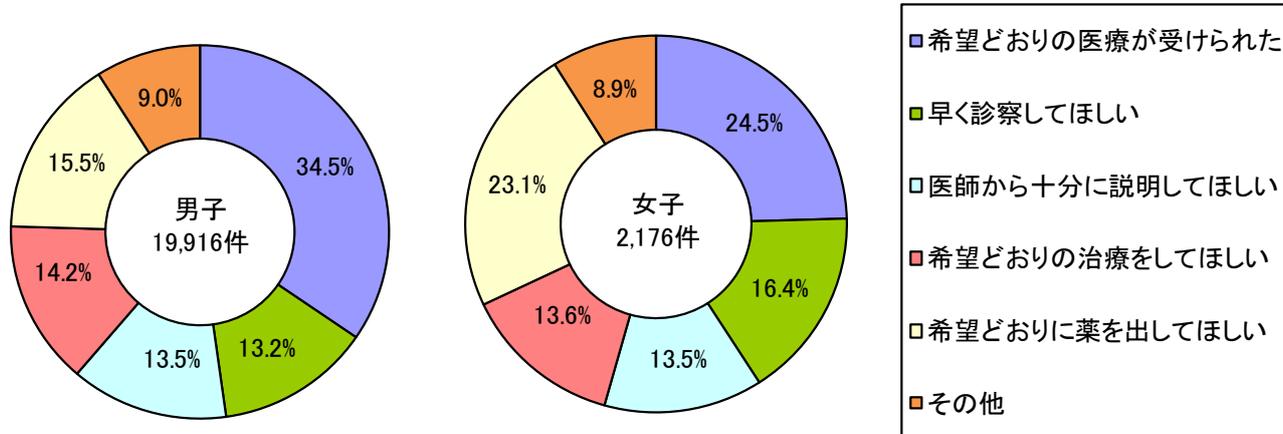
(3) 図書（官本）について、どのように感じましたか。【2つ選択】



各種の教育（改善指導等）のうち、図書（官本）について質問したところ、「種類の不足」が男女とも50%前後を占めたが、女子の「本を選ぶ時間が短かった」の比率が高い。

1.1 医療関係について聞きます。

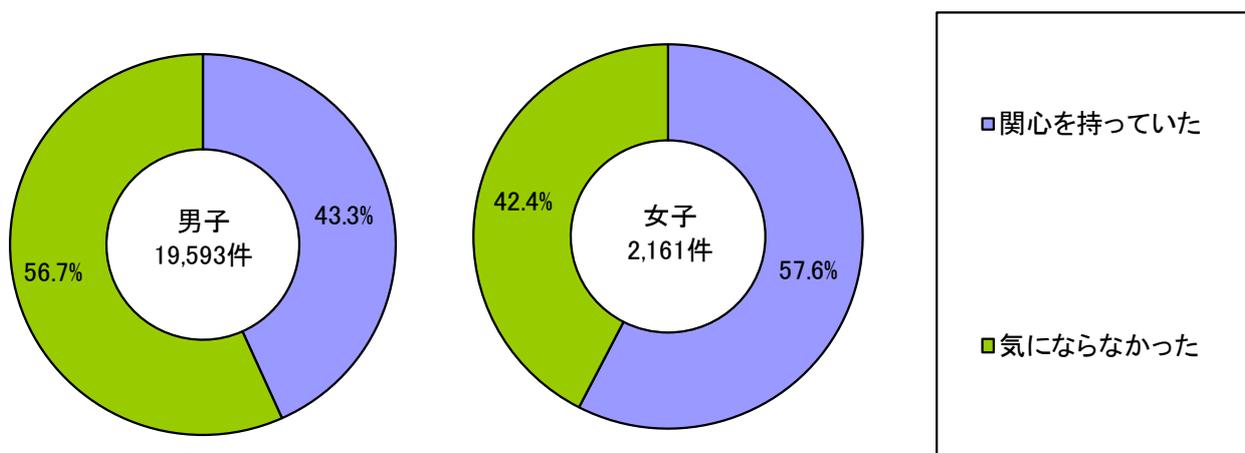
施設内の医療（診察）について、どのように思いますか。【1つ選択】



施設内の医療（診察）について質問したところ、「希望どおりの医療が受けられた」との回答が、男子は34.5%に対し、女子は24.5%であった。

1 2 制限区分について聞きます。

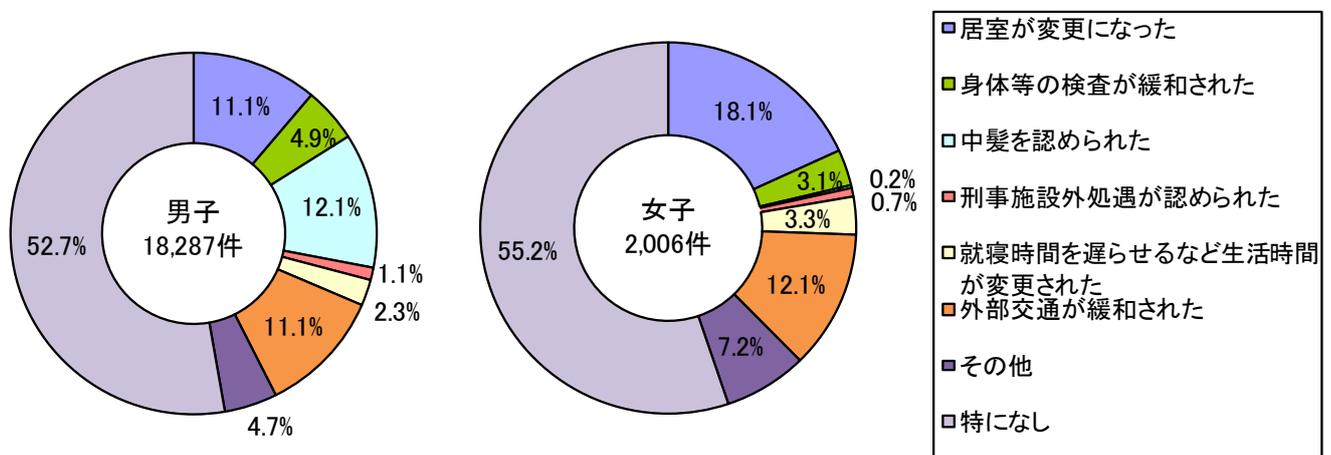
(1) 制限区分（第〇種）について、関心を持っていましたか。【1つ選択】



制限区分についての関心度合いを質問したところ、「関心を持っていました」との回答は約半数であったが、男子の43.3%に対し、女子が57.6%と高かった。

(2) あなたの制限区分に応じて変更となった処遇の中で一番良かったと思うものは何ですか。

【1つ選択】

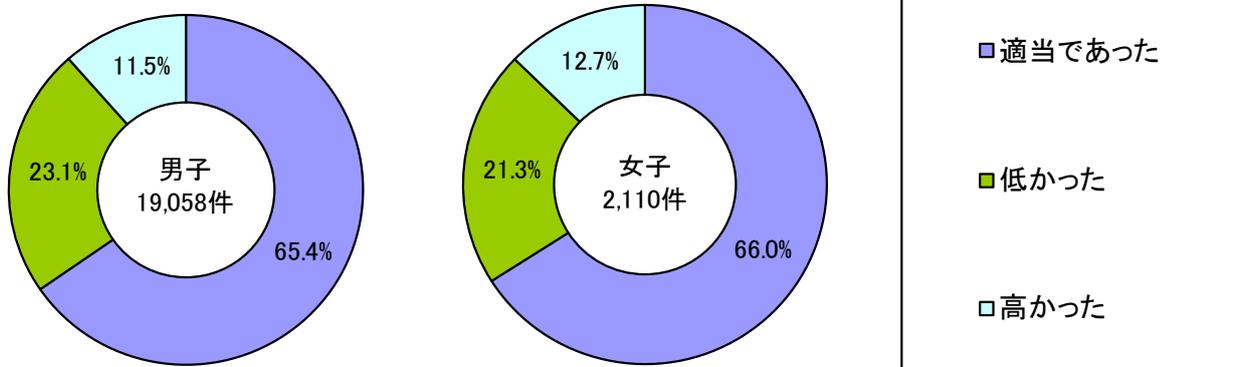


制限区分に応じて変更になった処遇で一番良かったと思うものを質問したところ、男女とも「特になし」が半数以上を占めているが、「居室が変更になった」と「外部交通が緩和された」の回答が比較的多かった。また、男子では「中髪が認められた」も比較的多かった。

### 1.3 優遇区分について聞きます。

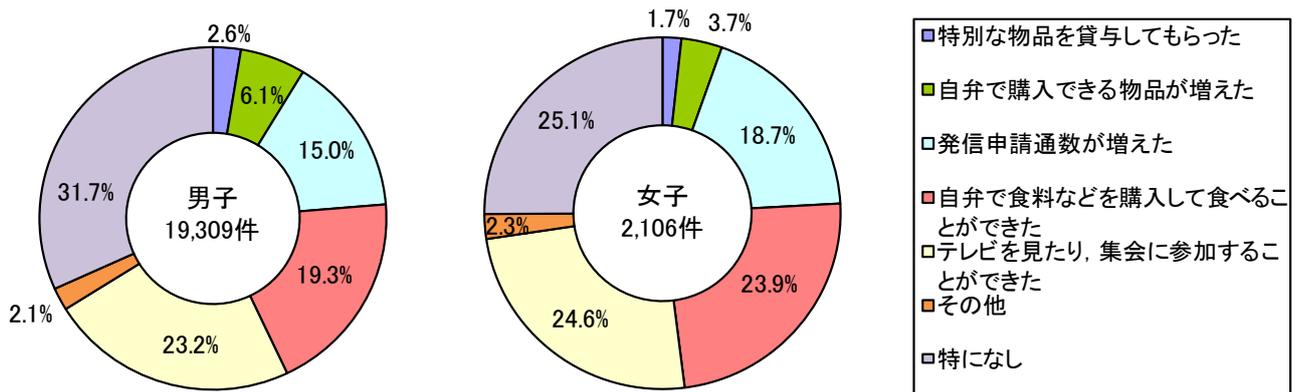
(1) 受刑態度によって指定されていた優遇区分（第〇類）について、どのように感じましたか。

【1つ選択】



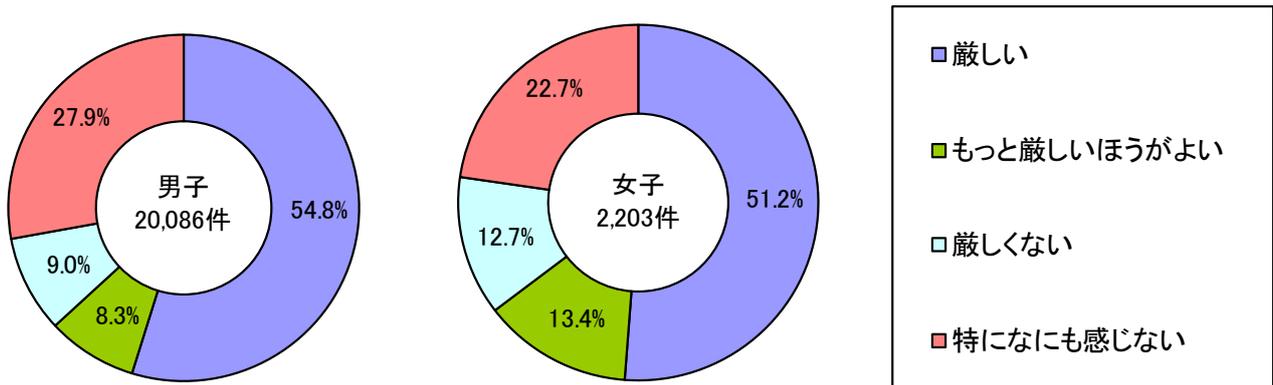
優遇区分への感じ方を質問したところ、男女とも65%程度が「適切であった」であるが、「低かった」の回答も男女とも20%程度であった。

(2) 優遇措置として一番良かったと思うものは何ですか。【1つ選択】



優遇措置として一番良かったものについて質問したところ、「特になし」の比率は高いものの、男女とも「発信申請通数が増えた」「自弁で食料などを購入して食べる事ができた」「テレビを見たり、集会に参加する事ができた」の回答が多かった。

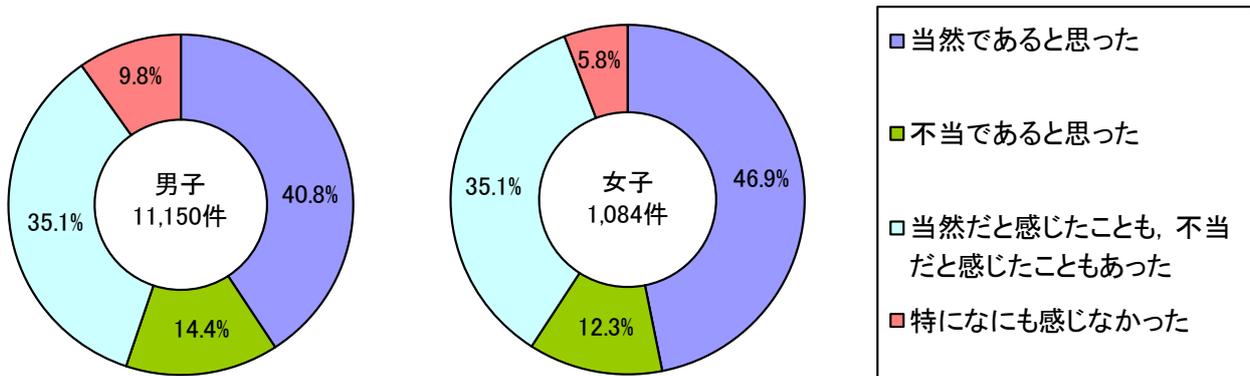
1 4 施設の規則についてどう思いましたか。【1つ選択】



施設の規則については、「厳しい」が半数以上を占めている。

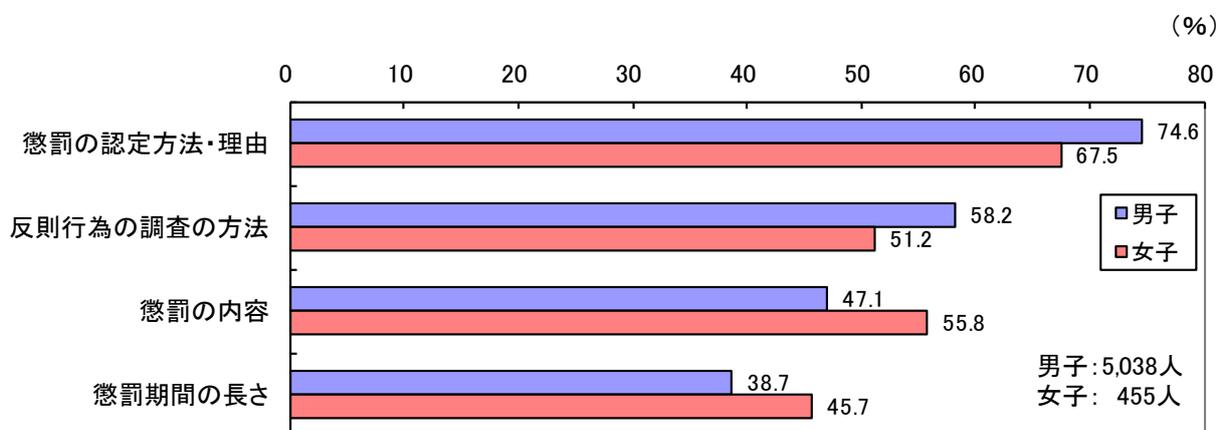
1 5 懲罰関係について聞きます。

(1) 懲罰を受けたことがある人に聞きます。懲罰についてどう感じましたか。【1つ選択】



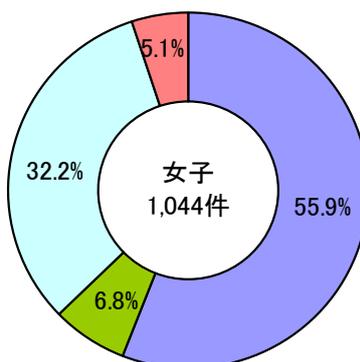
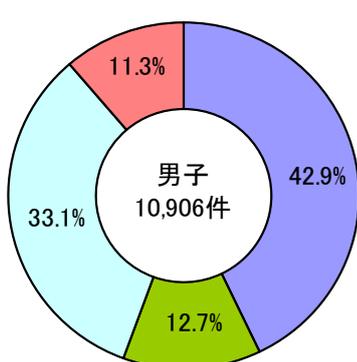
懲罰については、女子と比較して男子のほうが、「当然であると思った」の回答が少なく、「不当であると思った」の回答が若干多い。

(2) (1) で「不当であると思った」又は「当然だと感じたことも、不当だと感じたこともあった。」と答えた人に聞きます。不当だと思っている内容はどれですか。【すべて選択】



懲罰について不当に思った点は、男女とも「懲罰の認定方法・理由」が多いが、女子は男子と比較し「懲罰の内容」「懲罰期間の長さ」が相対的に多い。

(3) 懲罰を受けて、どのように考えましたか。【1つ選択】

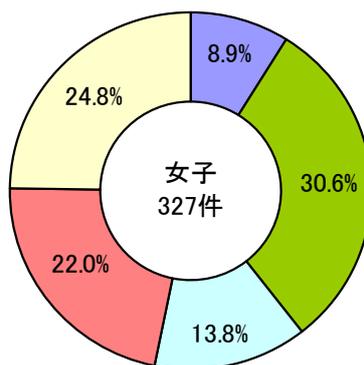
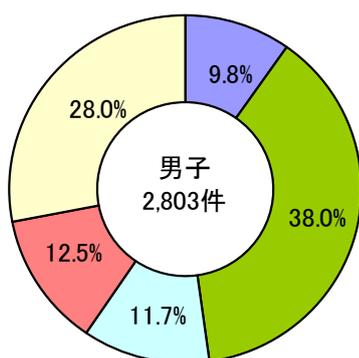


- 反省して、自分の生活を見直した
- 不満を感じた
- 反省して、自分の生活を見直したことも、不満を感じたこともあった
- 特に何も考えなかった

懲罰を受けて考えたことについては、男子と比較して女子のほうが「反省して、自分の生活を見直した」の回答が多い。

16 不服申立て関係について聞きます。

不服申立ての結果についてどう思っていますか。【1つ選択】

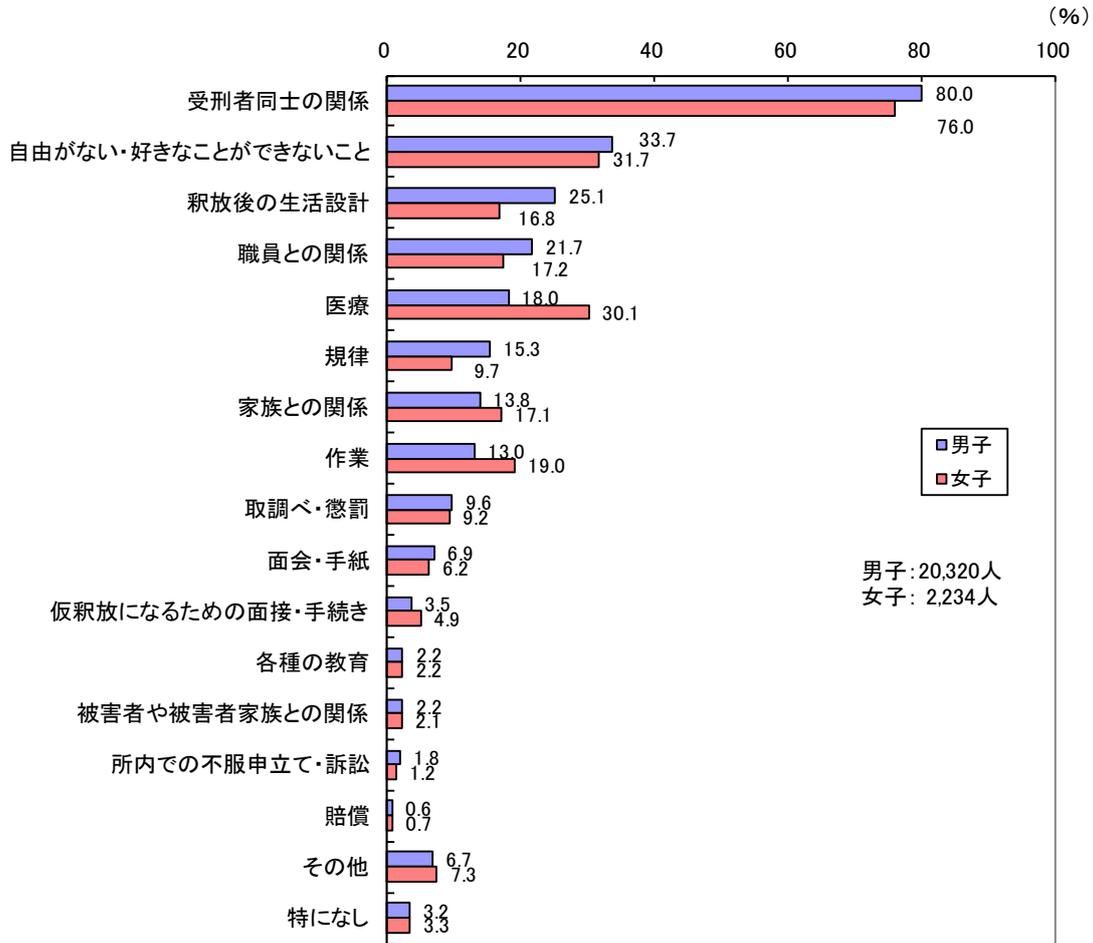


- 結果に満足している
- 結果が不満である
- 処理結果がわからないので不満である
- 処理結果がわからないので何とも言えない
- 特に何も感じない

不服申立てをしたことがある人に、不服申立ての結果について聞くと、男女とも、ほぼ半数が「結果が不満である」「処理結果がわからないので不満である」と不満に思っている。

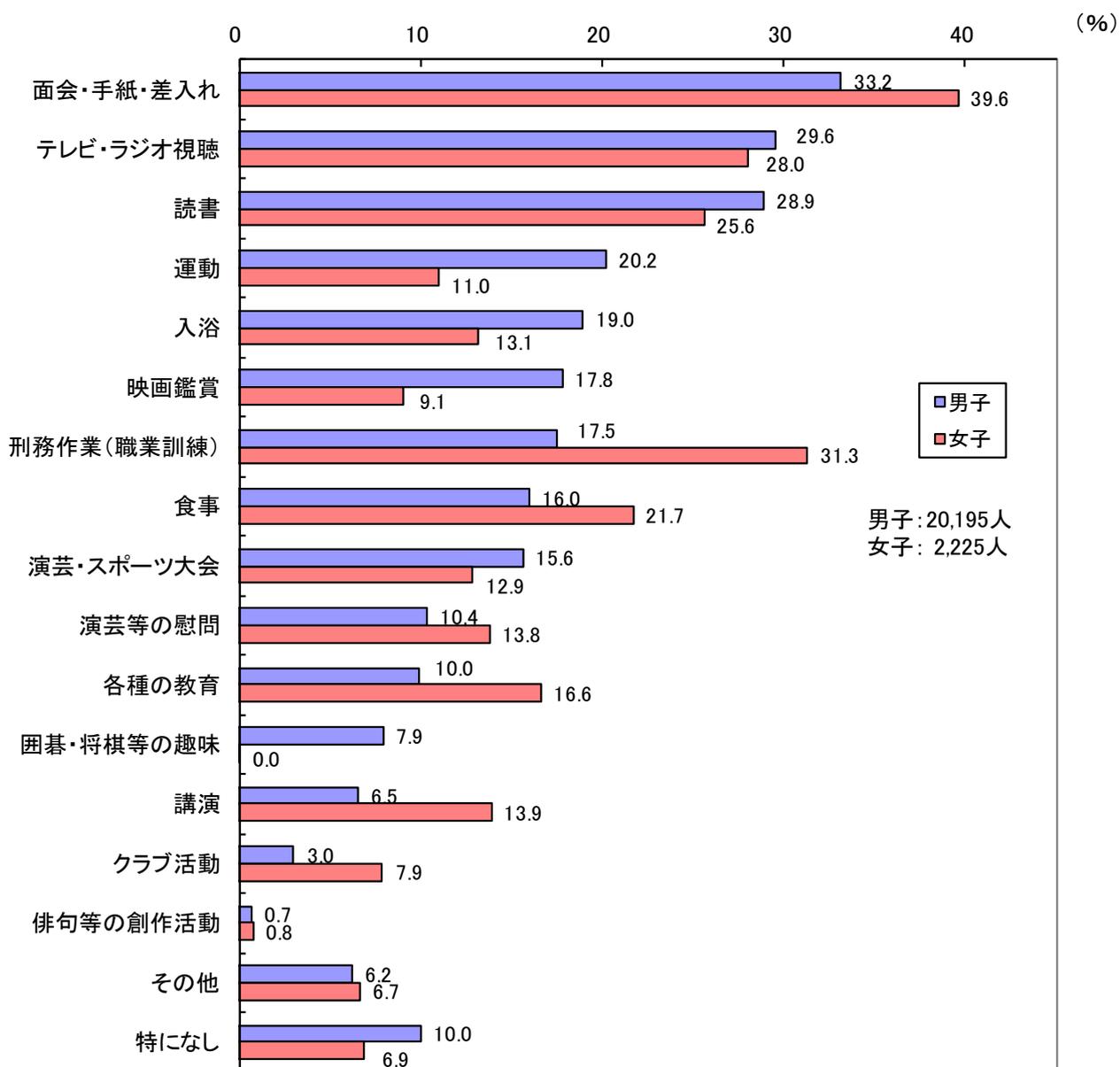
1.7 受刑生活関係について聞きます。

(1) 受刑生活で苦労したと思うことはどれですか。【3つ選択】



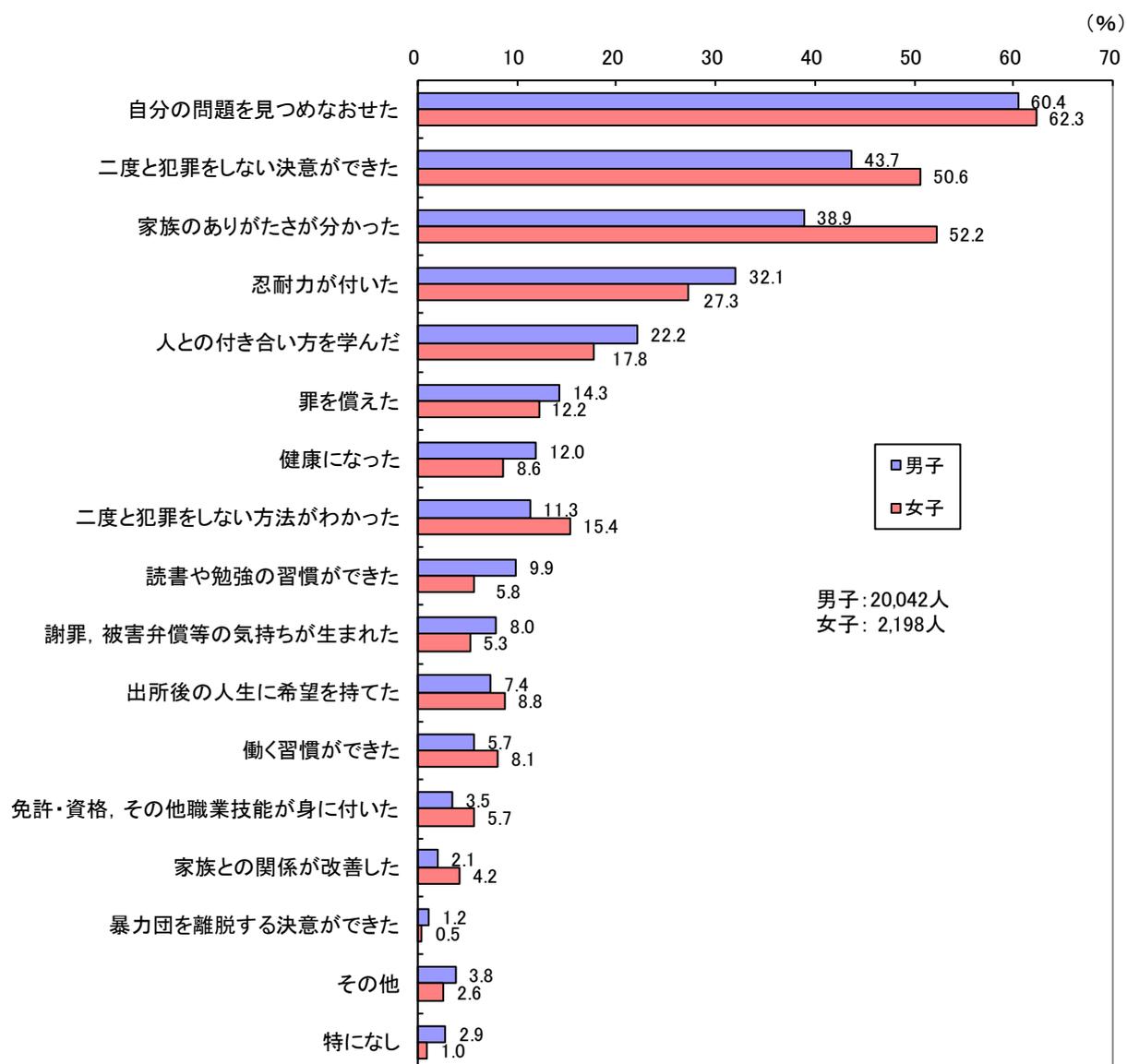
受刑生活で苦労したと思うことについては、男女ともに「受刑者同士の関係」が最も多く、次いで「自由がない・好きなことができないこと」であるが、次に多いのは、男子は「釈放後の生活設計」であるのに対し、女子は「医療」である。

(2) 受刑生活で良かったことはどれですか。【3つ選択】



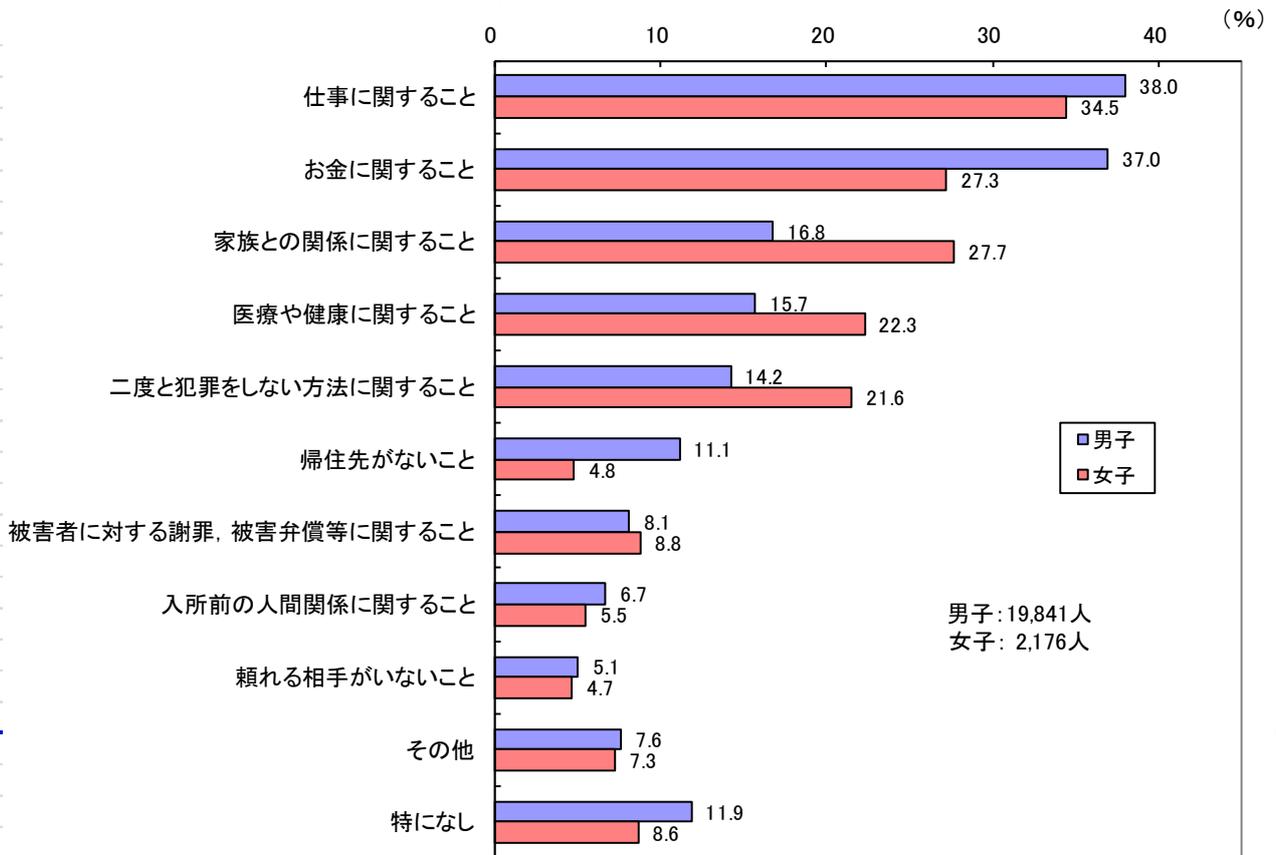
受刑生活で良かったと思うことについては、男女ともに「面会・手紙・差し入れ」が最も多く、次いで男子は「テレビ・ラジオ視聴」(29.6%)、女子は「刑務作業」(31.3%)である。

(3) 今回の受刑生活で得られたものはどれですか。【3つ選択】



受刑生活で得られたものは、男女とも「自分の問題を見つめなおせた」が最も多い。次いで男子は「二度と犯罪をしない決意ができた」(43.7%)であるが、女子は「家族のありがたさが分かった」(52.2%)である。

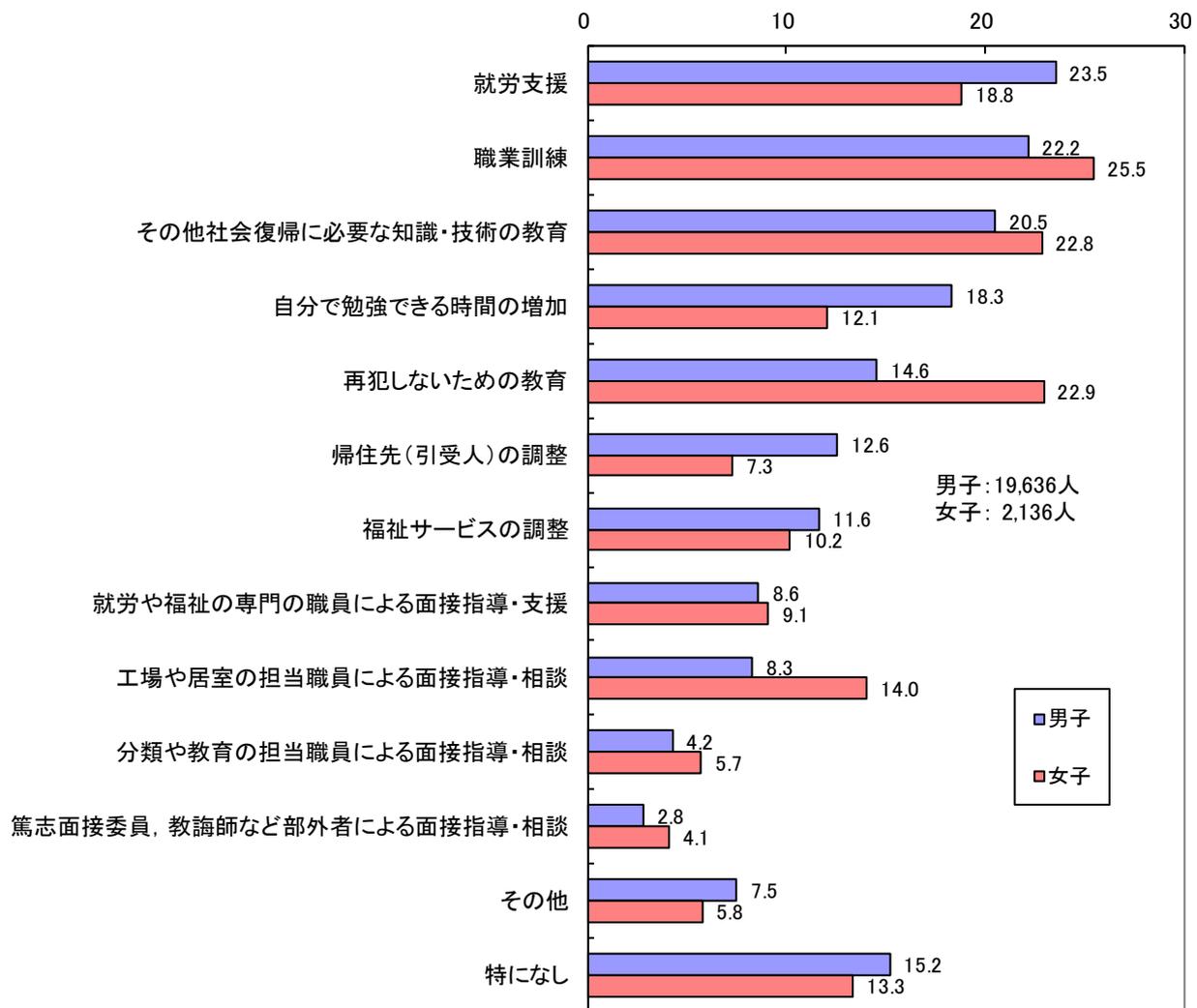
18 出所後の生活について不安に感じていることはありますか。【2つ選択】



出所後の生活で不安に感じることは、男女とも「仕事に関すること」が最も多い。次いで男子は「お金に関すること」(37.0%)が多いが、女子は「家族との関係に関すること」(27.7%)が多い。

19 出所後の生活のために刑務所でしてほしいことは何ですか。【2つ選択】

(%)



出所後の生活のために刑務所でしてほしいことは、「就労支援」「職業訓練」「その他社会復帰に必要な知識・技術の教育」が上位である。また、男子は、「自分で勉強できる時間の増加」「再犯しないための教育」が相対的に多く、女子は「再犯しないための教育」「向上や居室の担当職員による面接指導・相談」が相対的に多い。